

2023年6月20日

各 位

会社名 全保連株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 迫 幸治
問合せ先 経営企画部部長 小林 寛之
(TEL. 090-9781-1890)

人的資本に対する考え方について

当社は、「QUALITY FOR THE FUTURE 新たな価値へ、新たな未来へ」を企業理念とし、これまで、豊かな生活の基盤となる快適な住まいと安定した暮らしを支える家賃債務保証事業を通じて、社会へ貢献して参りました。今後もこの企業理念を事業の柱とし、社会に必要とされ、またお客さまに選ばれる存在であり続けるためには、自由で柔軟な発想をもつ社員を育成し、その活躍の場を与えることが必要不可欠となります。このような考えの下、今般当社では、人的資本の在り方等につき下記のとおり方針を整理いたしました。今後は、かかる方針に従って、社員の成長育成に取り組んでまいります。

記

1. 人材育成

当社では、すでにマネジメント研修や年次別研修等の階層別研修を実施しているところですが、今後は、選抜制による外部ビジネススクール研修プログラム、専門スキルを高めるデジタルトランスフォーメーション研修、法務・財務会計等の部門別研修、そしてeラーニングを活用した研修等を充実させることにより、社員が自らチャレンジし、成長していく体制を整えてまいります。

2. 採用及び中核人材の登用における多様性の確保

当社は、価値観の多様化が進む社会におけるインフラを支える企業としての使命を果たすべく、当社の中核人材の多様性を確保する観点から、当該人材の性別、国籍、採用の時期等に関わらず、その能力や目標達成度に応じ、適正公平な人事評価を行っております。すでに当社では、中途採用者の管理職登用率は高い水準にありますが、今後は、女性管理職の割合を2023年3月末の11%から15%に増加させる目標を設定し、人材登用の更なる多様性を確保して参ります。また当社では、外国人技術者を採用する試みをすでに始めておりますところ、引き続きこの試みを通じて人材登用の多様性を育んで参ります。

3. 処遇改善

当社では、昨今の社会経済・急激な物価上昇等による影響に鑑み、ベースアップを実施することといたしました。今年度は、定期昇給と賞与を合算して約9%の賃上げとなる見込みです。なお、夏季賞与については前年比120%となり、前々年比では425%となります。こうした処遇改善を通じ、当社は、当社の持続的成長の原動力である社員の日頃の労に報い、そのモチベーションの向上を図り、併せて、事業拡大に向けた優秀な人材の確保を更に進めて参る所存です。

ご参考：ベースアップの内容

- (1) 対象者：全社員（執行役員、嘱託社員を除く）
- (2) 引き上げ割合：平均 2.1%
- (3) 定期昇給及び賞与と合算した賃上げ割合：約 9%（見込み）

（前年度ベースアップの内容）

- (1) 対象者：全社員（執行役員、管理職、嘱託社員を除く）
- (2) 引き上げ割合：平均 1.5%
- (3) 定期昇給及び賞与と合算した賃上げ割合：約 16%

以上